

北海道浮魚ニュース

平成 25 (2013) 年度 2 号

2013 年 4 月 30 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4 月 30 日、第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので、概要をお知らせします。今回は、主に本州各府県を対象とした漁期前半 (5 ~ 7 月) の予報です。

なお、この予報は水産研究所と日本海側道府県水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のホームページでご覧になれます。

水産庁 (<http://www.jfa.maff.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

今後の見通し (2013 年 5 ~ 7 月)

対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海

対象漁業 : 主にいか釣り漁業

対象魚群 : 主に秋季発生系群

- (1) 来遊量 : 前年および近年平均並み。
 - (2) 漁期・漁場 : 漁期の開始は前年および近年平均並み。
 - (3) 魚体の大きさ : 前年および近年平均並み。
- 近年とは過去 5 年 (2008 ~ 2012 年) のことです。



・ 昨年 10 ~ 11 月に実施した幼生分布調査での幼生の平均分布密度は 2011 年を上回り近年平均並みでした。今年 4 月に実施した新規加入量調査での平均分布密度は昨年を下回ったものの近年平均を上回りました。全国のスルメイカ漁獲量は、3 月は不漁であった前年を上回り近年平均並みで、4 月も前年を上回る値で推移しています。以上の結果から来遊量は前年および近年平均並みと予想されました。

・ 漁期・漁場の予報は主に本州における漁獲を対象としています。海況予報では日本海の 4 月 ~ 6 月の対馬暖流域の表面水温は「平年並み」から「やや高め」で推移すると予測されています。このことから漁期の開始は前年および近年平均並みと予想されました。ただし 4 月中旬の表面水温は平年よりも低い海域が多く、気象庁の 1 ヶ月予報でも、5 月中旬まで表面水温は低いと予測されていることから、今後の経過に注意する必要があります。

今後の北海道への日本海スルメイカ来遊状況に関しては、5 月中 ~ 下旬に函館水産試験船金星丸により実施する日本海北上期調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については 7 月に第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

(文責 : 函館水産試験場調査研究部、TEL:0138-57-6056、FAX:0138-57-5991)